



葛生ロータリーのまど

葛生ロータリークラブ

第2号

発行日



ご挨拶

葛生ロータリークラブ 2004~2005年度

会長 関口泰一郎

今年2月28日をもって1市2町が合併して新佐野市になり、長い間親しまれてきた葛生の町名が無くなることは一抹の寂しさもありましたが、3ヶ月を過ぎてきますと、すっかり佐野市の住民になってきたのではないのでしょうか。佐野市には4つのロータリークラブがあります。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたそうです。

1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生し、そのときは4名の会員でした。現在は世界166カ国、32176クラブ、1214127名の会員になり、奉仕と親睦の理想を掲げ、活動をしています。今年で100年を迎えることが出来ました。「ロータリーって一体なんですか?」と質問を受けることができます。世界中で一番古い奉仕団体であるということです。ロータリーの綱領、そして4つのテストに照らして、地域社会に奉仕していくのがロータリークラブです。

葛生ロータリークラブも44年の歴史を重ね来年は45周年の節目を迎えます。これも一重に地域の皆様のご理解とご協力があったからこそと思います。心より感謝申し上げます。葛生ロータリークラブは、19の委員会と46名の会員で構成され単年度で組織運営をしています。今回2回目の会報を出すことが出来ました。これからも長く続けていきたいと思えます。

地域の皆様とこれからもスキシップを大事にし、お互いをあわせ活動してまいりますので、ご協力をお願い申し上げ結びといたします。

ロータリーとは

ロータリーの誕生とその成長

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の影で、商業道徳の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人と語らって、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。こうして1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生しました。

それからは志を同じくするクラブが、次々各地に生まれ、国境を越えて、今では世界166カ国(2004年12月現在)の地域に広がり、クラブ数32,176、会員総数1,214,127人(2004年12月31日RI公式発表)に達しています。そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。

目次:

ご挨拶

葛生ロータリークラブ会長

関口泰一郎

ロータリークラブとは 1

葛生ロータリークラブ

活動報告 2・3

ロータリークラブ100周年

4

葛生ロータリークラブ 会員名簿(ABC順)

相子光太郎	奥山 國之
馬場 俊一	齊藤 誠司
千葉 幸雄	斎藤 武
江田 惣平	酒庭 和一
福島 秀治	島田 政
広瀬 常夫	島野 公良
星野 裕幸	関口 文雄
飯田 力	関口泰一郎
市毛 芳克	蘇原 広光
石川 清	須藤 功一
岩崎昇一郎	高実子 正
影澤 龍平	田沢 秀文
川田 直治	谷 和文
川田 忠司	寺内 聖
小林 祥郎	坪内 馨
駒形 忠晴	八下田幸三
茂呂 博	八下田典雄
永井 成雄	横塚 信也
長島 徹	吉澤 浅一
中田 秀昭	吉澤 兵左
中田 英昭	吉澤慎太郎
新田 実	吉澤 俊夫
野部 栄一	立川 裕康
奥澤 松利	(名誉会員)

THE FORE WAY TEST 4つのテスト

of the things We think, say or do
言行はこれに照らしてから

- I. Is it the TRUTH?
真実かどうか
- II. Is it FAIR to all concerned?
みんなに公平か
- III. Will it build GOODWILL
and BETTER FRIENDSHIPS?
好意と友情を深めるか
- IV. Will it be BENEFICIAL to
all concerned?
みんなのためになるかどうか



葛生ロータリークラブ活動報告（2004～2005年度）

災害義援金募金・新潟中越地震ボランティア



2004年は災害の多い年でした。葛生ロータリークラブでは災害のたびに会員から募金を募り、義援金として役立てていただいています。また、新潟中越地震で被害の大きかった川口町には会員有志が現地ボランティア活動に参加しました。

☆昨年度の災害義援金

- ・ 新潟中越地震・福井県災害・台風23号水害・インドネシアスマトラ沖津波災害など

町内清掃奉仕活動（12月7日）



2004年12月7日、葛生ロータリークラブ会員と葛生高等学校（現青藍泰斗高等学校）インターアクトクラブが合同で清掃奉仕活動を行いました。今回は「葛の里老番館」周辺を中心に行いました。

葛生ロータリークラブ会長杯婦人バレーボール大会



毎年恒例となっている葛生ロータリークラブ会長杯婦人バレーボール大会の様子です。葛生ロータリークラブは様々な形でこの大会に協賛させていただいています。

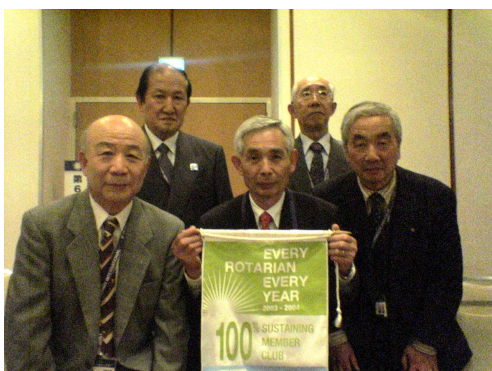


GSEでホームステイされたイギリスからのメンバー



「国際理解」もロータリークラブの重要な活動の一つ。
2004年度はイギリス人のダニエル・
ストラフィリングさんを葛生の地に向かえ、
ホームステイしていただき交流を深めました。

地区大会



栃木県内のロータリークラブが集まる「地区大会」は
2005年4月9日、10日に行われ、葛生ロータリー
クラブからは13名が出席しました。なお、この大会で
葛生ロータリークラブは100%財団の友クラブで表
彰されました。

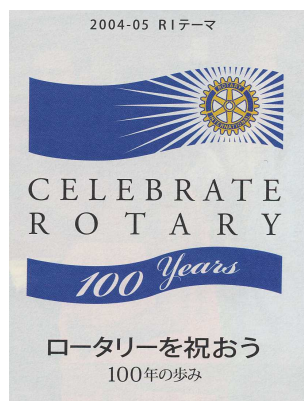
ライラセミナー



奉仕の心を持った青少年を育成するのもロータリークラブの使命です。そのため毎年「ライラセミナー」を
行い、各地区のインターアクターの高校生を集め研修を行っています。今年度は2005年3月19日、20
日に行われ、青藍泰斗高等学校インターアクター2名が参加してきました。



ロータリー100周年



1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生して以来、ロータリーは今年で100周年を迎えます。

当初は弁護士ポール・ハリスが友人3人と語らって始まりました。今や国境を越えて、ロータリーの輪は広がっていますが、初期の頃は、将来の見通しはほとんど立っていませんでした。4人のうち誰1人として、100年後に31,000ものクラブが会合を開き、そして定期的に会合が開かれることになるとは、予想していなかったことでしょう。

ロータリークラブがこれまでの歴史の中で取り組んだものの中で特筆すべきは、ポリオ撲滅の運動です。かつて全世界の約500万人の子供たちを苦しめたポリオという病も、今ではほぼ撲滅したといっても過言ではありません。私たちは、世界の子供たちや今後生まれてくるすべての子供たちへの贈り物として、ポリオのない世界を実現するという大きな成功を祝うこととなります。

また、世界166カ国で120万人の会員が奉仕するという1世紀にわたる成長と拡大を祝い、そして、私たちを奉仕へと駆り立てて献身しようと絶えず奮い立たせる、ロータリアンの心温まる親睦を祝うのです。

100年は重要な磁石であり、そこに到達した団体はほとんどありません。このことは、ロータリーが正しい行いをしていること、ロータリー奉仕に対する需要がまだまだ大きいことを示しています。私たちの成功には、数多くの「秘密」があります。それは週例会に由来する親睦と共通の大義、それに世界中に向けて扉と心を開く国際性であり、私たちの誰もが、自分ひとりで行くよりはるかに大久の事柄を達成させてくれる構造です。しかしながら、最大の強みは、ロータリアンが新しい挑戦事項に取り組むにあたって抱き、最後に問題が解決されるまで持続する熱意なのです。私たちは、ポリオ撲滅において、また、私たちが奉仕する各地域社会において、他の何千もの方法でそれを実践しています。

20世紀を通して他のこれほど多くの人々の心と魂を掴むことになった奉仕の運動ですが、初期の創立者たちのように、ロータリアンは、自分たちの行動がどれほど建設的な影響を与えるのか、常にわきまえているわけではありません。しかし、100年にわたる奉仕は、私たちが世界で善行をなす計り知れない可能性を明確に示してきました。

今日、国際ロータリーは、世界で最も影響力と行動力を有する非政府団体の1つとして、奉仕の第2世紀に入る用意が整っています。ポリオ・プラス・プログラム、平和および紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリー・センター、国際人道的活動、そして世界中で数え切れないほどの卓越したクラブと地区のプロジェクトなど、より平和な世界を達成するためのロータリーの貢献は可能性に満ちています。また、新しい挑戦事項に取り組み、それらが達成されるまでやりぬく心構えをして、奉仕の第2世紀に入っていくことでしょう。

私たち葛生ロータリークラブでも、職業で、地域社会で、そして私たちの世界で、新たに奉仕に献身し、ロータリー100周年を祝っていきます。

グレン・エステス会長は、「このシカゴ大会は、ロータリーにとっては100年目の通過点かもしれませんが、皆様にとっては、生涯で唯1度のお祝いです。これを見逃す訳には参りません。」と語っています。

ロータリー100周年期の1年は、私たち、ロータリアンにとって一生忘れ得ぬ年度になることでしょう。

葛生ロータリーのまど

【発行】

葛生ロータリークラブ雑誌・広報委員会

委員長：永井 成雄

副委員長：寺内 聖・嶋田 政

委員：相子 光太郎

〒327-0501

栃木県佐野市葛生東1-12-11 (株)足利銀行葛生支店内

電話 0283-86-2181

Fax 0283-85-3335